

平成 29 年 5 月 貫井図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 5 月 25 日 (木) 14 時 00 分から 14 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 視聴覚室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 貫井図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「貫」)</p> <p>貫井図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 今年度は施設修繕等の予定はあるか。</p> <p>→ (貫) ブラウジングコーナーの壁紙がはがれていたため簡易な塗装を 5 月の館内整理日に実施した。その他、大きな修繕は今のところ予定していないが、視聴覚室のカーテンをクリーニングする予定。</p> <p>(光) 修繕については、4 月に風除室のカーペットの貼り替え工事を行い、一定程度支出が発生している。予算の状況を勘案しながら、執行していった欲しい。</p> <p>→ (貫) 承知した。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 4 月の人件費の執行率について</p> <p>→ (貫) 4 月は繁忙対応のため執行率が 100% を超えた。</p> <p>(光) 今年度の職員体制について</p> <p>→ (貫) 人数的には昨年度と変わりはないが、労働時間では少し増える見込み。託児サービスやおはなし会の回数増等、子育て支援をターゲットにした事業で人手が必要と想定されていることが理由である。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>(光) 番号札による座席利用の仕組みを一部の席で導入しているが、良い点と悪い点は。</p> <p>→ (貫) 良い点は、学生の学習利用と思われる方が来ないので、社会人の方の居場所、調べものをする方用の席が確保できていることにある。一方で、その席の利用範囲をどこまでにするかが難しい。例えば新聞を閲覧してよいのかなど。あまり細かく規制はしたくないが、何でもよいというわけにはいかない。</p> <p>(光) 老人ホームの出張よみきかせの施設はどう決めているか。</p> <p>→ (貫) 中村敬老館で実施していた事業を聞きつけた施設の職員から声掛けがあった。他の施設からも話があれば実施を検討したい。</p> <p>(光) 書籍消毒器の利用回数が他館に比べてかなり多いが。</p> <p>→ (貫) 理由は不明。最初の半月は資料の貸し出しをした方にチラシを配布し案内をしていた。利用方法についても掲示しており、そうしたことで効果があったのかもしれない。</p> <p>(光) 11 月に計画している「弁士付き無声映画の上映会」はバリアフリー的なものか。</p> <p>→ (貫) バリアフリー映画とは異なる。障害者の鑑賞をサポートする音声と字幕が付いた</p>

バリアフリー映画会は、別に実施する予定。

(光) 美術パスファインダーの作成と利用について

→ (貫) 美術館の企画に関連したテーマで作成・配布を行っている。過去の分を含めて館内に置いてあり、よく利用されている。

④ 児童サービス事業について

(光) 今年度力を入れていきたい事業等について

→ (貫) 子育て支援に係る事業について手厚くしていきたい。昨年度から開始した、託児サービス事業については毎月実施とし、乳幼児向けのおはなし会である「ぬくぬくベビーおはなし会」については、今後、開催回数を増やす方向で検討している。また、貫井子ども家庭支援センターとの共催事業として、「子育て相談室」の開催や、出産・育児をテーマにした映画の上映会の実施についても検討している。「子育て相談室」は、子ども家庭支援センターの職員が個別に相談を受け、図書館側は関連図書の紹介などを行う予定である。美術館との連携については、人気事業であった「銀河万丈による読み語り」が終了したため、これに代わる新しい事業を考えている。

(光) 「ぬくぬくベビーおはなし会」はいつ頃から開催日を増やす予定か。

→ (貫) 増員のボランティアが研修中のため秋になってからになる。

(光) 4月の託児サービス1日目の参加者が1人の理由は。

→ (貫) 理由はわからないが、年度当初は減る傾向がある。また、図書館ホームページの掲載が出来ていなかったこともある。

(光) 子ども読書の日記念事業の「よみきかせ大臣」の内容について

→ (貫) 近隣の小学校4校から推薦された代表児童が、幼児から低学年の子供たちへ、読み聞かせ等を実演する行事。準備から当日の司会まですべて子供たちが行い、参加者の感想もよかった。区の直営時代からある事業で、参加希望者が多くオーディションをして代表者を決める学校があったり、企画書を作って持ってくる児童もいたり、参加者がかなり積極的に関わってくれている。

(光) 大泉図書館のブックフレンズのような事業は実施していないか。

→ (貫) していない。28年度に小学校高学年から中学生にかけての子供を対象に1日図書館員を実施した。今年度も企画している。一定程度継続してくれる子供がいればブックフレンズのような、児童・生徒をメンバーにした読書活動支援事業も実施していきたいと考えている。